

2007年1月のMURC先行指数(MURC-LI) 日本景気版

2007年1月の総合系列DIは43%となり、累積DIは5ヵ月連続で下降した。先行期間の長い長期先行系列DIは43%と、4ヵ月連続で50%を下回っている。一方、DIに比べ、景気により敏感に反応するCIを見ると、総合系列は2ヵ月連続で上昇、長期先行系列も2ヵ月連続で上昇した。

MURC-LI日本景気版・総合系列DIと景気のタイムラグ(平均6ヵ月)から機械的に判断すると、景気は、06年晩秋をピークに、後退局面に入った可能性がある。

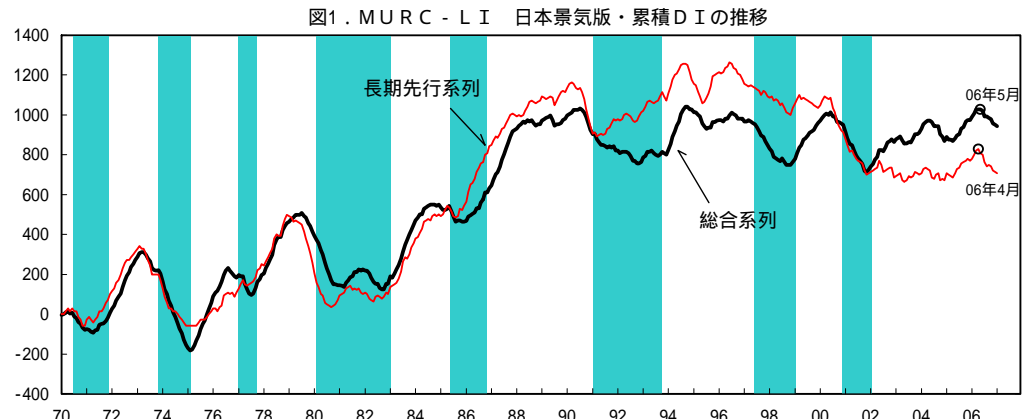


図1. MURC-LI 日本景気版・累積DIの推移
(注) ■ は景気後退期(内閣府調べ)。長期先行系列の累積DIの景気に対するタイムラグは平均9ヵ月で、総合系列(平均6ヵ月)よりも更に先行期間が長い。このため、基調判断の補助材料として利用できる。長期先行系列は個別系列表の で構成。

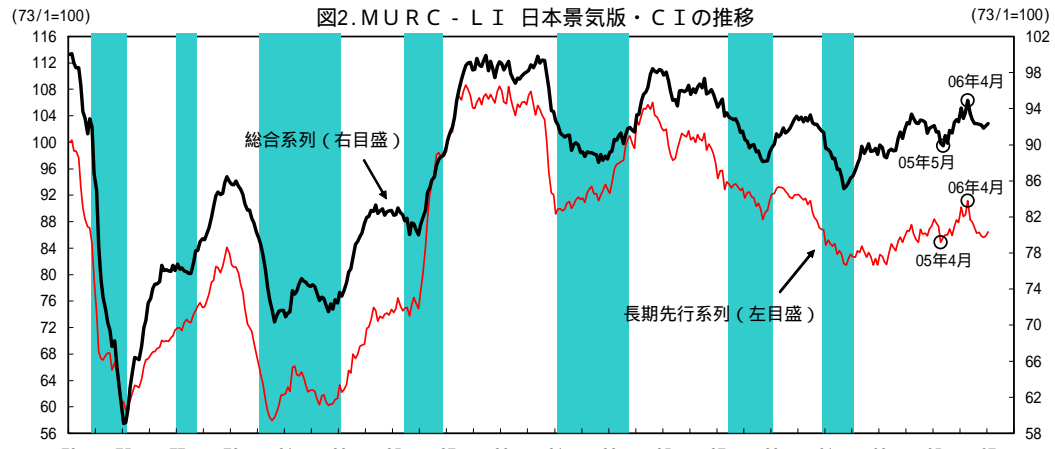


図2. MURC-LI 日本景気版・CIの推移
(注) ■ は景気後退期(内閣府調べ)。CIの景気の山・谷に対する平均先行期間は、総合系列で7ヵ月、長期先行系列では10ヵ月。

CI	05/7	05/8	05/9	05/10	05/11	05/12	06/1	06/2	06/3	06/4	06/5	06/6	06/7	06/8	06/9	06/10	06/11	06/12	07/1
総合系列	90.2	91.6	91.3	92.5	92.8	92.6	94.1	92.9	93.6	94.9	93.4	92.8	92.4	92.4	92.2	92.2	91.8	92.1	92.4
長期先行系列	86.0	86.9	85.9	87.3	88.3	87.9	90.2	88.8	89.0	91.2	88.4	87.9	87.1	86.3	86.4	85.9	85.6	85.8	86.5

(注1) ● は既往の山。
(注2) 3ヵ月、5ヵ月の移動平均によりピークを選別し、その近傍の原数値のピークを既往の山とした。

MURC-LI 日本景気版・個別指標の推移

	2006 1-3	2006 4-6	2006 7-9	2006 10-12	2006 1	2006 2	2006 3	2006 4	2006 5	2006 6	2006 7	2006 8	2006 9	2006 10	2006 11	2006 12	2007 1
景気動向指数・累積一致DI(内閣府)	8,263	8,301	8,387	8,441	8,280	8,275	8,234	8,266	8,298	8,339	8,366	8,398	8,398	8,423	8,438	8,463	
MURC-LI(総合系列) DI	68	48	38	38	64	68	71	50	50	43	21	50	43	43	29	43	43
累積DI	1,029	1,021	986	950	989	1,007	1,029	1,029	1,029	1,021	993	993	986	979	957	950	943
MURC-LI(長期先行系列) DI	67	43	33	38	57	71	71	57	29	43	14	29	57	43	29	43	43
累積DI	821	800	750	714	779	800	821	829	807	800	764	743	750	743	721	714	707
1 実質マネーサプライ 前年比(%)	1.8	1.2	-0.1	0.4	1.9	1.9	1.7	1.8	1.2	0.7	0.2	-0.4	0.0	0.2	0.4	0.5	1.0
イールドカーブ (%)	1.570	1.884	1.615	1.480	1.465	1.557	1.687	1.901	1.903	1.848	1.786	1.601	1.457	1.546	1.478	1.417	1.471
TOPIX/名目鉱工業出荷指数 季調値	0.157	0.151	0.142	0.144	0.155	0.158	0.157	0.160	0.153	0.140	0.141	0.142	0.144	0.146	0.139	0.145	0.152
4 日経商品価格指数17種(月末値) 前年比(%)	16.5	22.1	19.3	17.8	17.3	15.1	17.3	23.0	22.9	20.4	19.5	19.3	19.2	19.4	16.9	17.2	12.2
首都圏マンション契約率 季調値(%)	82.2	78.8	78.1	75.5	87.3	79.0	80.3	83.4	76.1	77.0	77.9	75.8	80.5	76.9	75.5	74.1	82.8
新設住宅着工戸数 季調値(千戸)	106	108	106	109	105	111	103	111	108	106	103	107	107	109	111	108	104
新車登録届出台数(乗用車) 季調値(千台)	407	386	380	372	411	405	406	392	375	393	377	381	382	363	379	373	389
交易条件	0.768	0.751	0.732	0.748	0.782	0.761	0.761	0.760	0.750	0.743	0.739	0.728	0.729	0.742	0.751	0.751	0.741
9 単位労働コスト 前年比(%)	-2.8	-2.5	-4.3	-4.0	-2.7	-2.8	-3.0	-1.8	-3.4	-2.3	-4.1	-4.8	-4.0	-5.8	-3.8	-2.3	-5.0
10 鉱工業生産者製品在庫率指数 季調値(2000年=100)	100.3	98.4	99.4	100.6	99.2	101.0	100.6	100.1	98.1	97.0	101.9	96.4	99.9	99.4	101.1	101.2	97.6
11 鉱工業生産財・最終需要財生産比率 季調値	1.138	1.121	1.160	1.149	1.144	1.131	1.138	1.129	1.128	1.105	1.154	1.151	1.176	1.152	1.150	1.144	1.158
12 非鉄金属工業生産者出荷指数 季調値(2000年=100)	98.6	100.5	99.7	99.4	97.2	97.9	100.6	101.9	99.4	100.1	100.4	100.4	98.3	99.0	98.2	101.1	97.5
13 東京電力大口電力バランス 季調値	0.328	0.332	0.331	0.336	0.331	0.325	0.329	0.332	0.330	0.334	0.327	0.336	0.331	0.335	0.337	0.337	0.334
米国製造業設備稼働率 季調値	80.1	80.6	80.9	80.1	80.3	79.9	80.1	80.7	80.3	80.8	80.9	81.1	80.9	80.1	79.9	80.4	79.6

(注1) 累積DI上段の表示について：...前月より上昇、...前月と同じ、...前月より低下
各データ上段の表示について：...3ヵ月前より上昇、...3ヵ月前と同じ、...3ヵ月前より低下 但し、逆サイクルの系列については逆
長期先行系列のMURC-LIは、個別指標のうち、番号を で囲んだ7つの指標で構成。
(注2) 上場国債利回りの公表中止に伴い、05年4月より、イールドカーブ算出に用いる長期金利を「新発10年物国債利回り」に変更した。

MURC先行指数(MURC Leading Index 略称MURC-LI)日本景気版は、各分野について先行性をもつと考えられる複数の指標を選定し、半年程度先の景気を予測するために開発された当社独自の先行指数です。DIはそれぞれの指標を3ヶ月前と比較し、上昇した指標の割合を求め、景気の変化方向を予測しています。CIはそれぞれの指標の前月との変化幅を合成しており、景気の変化方向に加え量的部分を予測しています。MURC-LIには、「日本景気版」のほか、「日本長期金利版」「日本株価版」「米国長期金利版」「米国短期金利版」「為替(ドル円レート)版」「インフレ版」「全産業活動版」「欧州景気版」「産業景気版」の10系列があります。

なお、景気の現況並びに先行きの変化方向の予測に関するコメントは、あくまでもその時点での機械的な判断によるものです。

本インデックスについては、当社ホームページ(<http://www.murc.jp/>)で毎月公表しています。お問い合わせは 投資調査部 岡本(y.okamoto@murc.jp)までご連絡下さい。

本資料の記載内容の一部を引用あるいは転載される場合には、必ず「三菱UFJリサーチ&コンサルティング投資調査部 資料より」と明記して下さい。

本レポートは情報提供を唯一の目的としており、何らかの行動ないし判断を推奨するものではありません。また、掲載されている予測は、本レポートの分析結果のみをもとに機械的に行われたものであり、予測の妥当性や確実性が本レポートの分析によって保証されるものでもありません。予測は常に不確実性を伴います。本レポートの予測・分析の妥当性等は、独自にご判断下さい。

これまでご好評を頂いておりましたMURC先行指数(MURC-LI)でございますが、都合により今回で休載とさせていただきます。長らくのご愛顧、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。